

No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成16年度第2回)

一般国道483号

よ う か ひ だ か
八 鹿 日 高 道 路

平成16年11月

国土交通省 近畿地方整備局

目 次

事業の目的	1
計画の概要	2
事業の経緯及び進捗	4
事業を取り巻く社会状況	6
1．社会的背景	6
2．道路交通の現状	8
3．周辺の主な事業の概要	1 3
4．地域における計画	1 5
5．要望経緯	1 6
事業の整備効果	1 8
費用便益比の算定	2 5
コストの縮減や代替案立案等の可能性	2 7
対応方針	2 8

事業の目的

- ・ 但馬地域の主要幹線道路の交通混雑の緩和、交通安全の確保
- ・ 幅員狭小区間、特に冬期降雪時に狭隘となる隘路区間の解消
- ・ 但馬地域と阪神地域の連携を強化し、観光産業、地場産業を支援
- ・ 冠水等の災害時の代替路の確保、緊急医療ネットワークの形成

一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する、全長約70kmの高規格幹線道路として整備中の路線です。

兵庫県北部の但馬地域は、県土の1/4を占めますが高速道路空白地帯で、公共交通機関も脆弱です。日常生活は主に自動車を利用し、朝夕の通勤通学時の交通渋滞、交通事故、緊急医療ネットワーク、冬期積雪時の交通確保など、日常生活に深刻な影響を及ぼしています。

また、過疎化が進む当地域は、ズワイガニなどの水産品、かばんなどの地場産業、温泉、スキー場等の観光産業などを活かした地域の活性化や、人口の定住化が求められています。

八鹿日高道路は、北近畿豊岡自動車道の一部を形成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携した広域道路ネットワークを形成し、日常生活の基盤となるとともに、地域活性化を図ることを目的とした道路です。

位置図



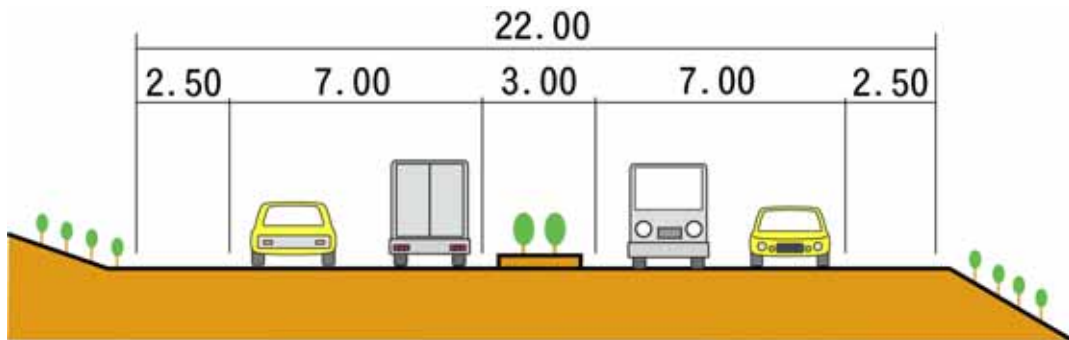
計画の概要

- ・起 終 点 起点) 兵庫県城崎郡日高町久斗
 終点) 兵庫県養父市八鹿町高柳
- ・計 画 延 長 L = 9 . 7 k m
- ・幅 員 W = 2 2 m
- ・構 造 規 格 第 1 種 第 3 級
- ・設 計 速 度 8 0 k m / h
- ・車 線 数 4 車 線
- ・全 体 事 業 費 約 6 9 0 億 円



標準断面図

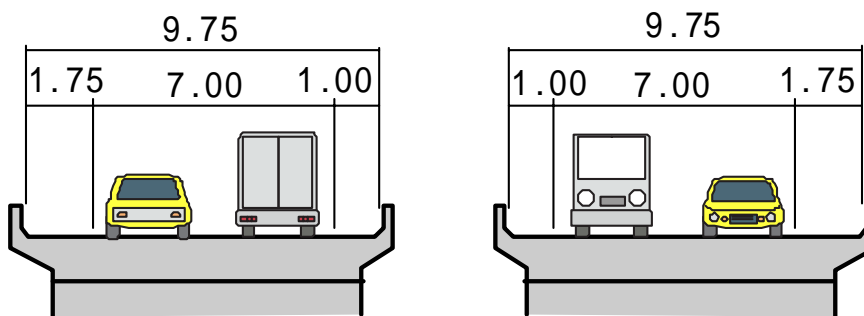
土工部



トンネル部



高架部



事業の経緯及び進捗

1. 事業の経緯

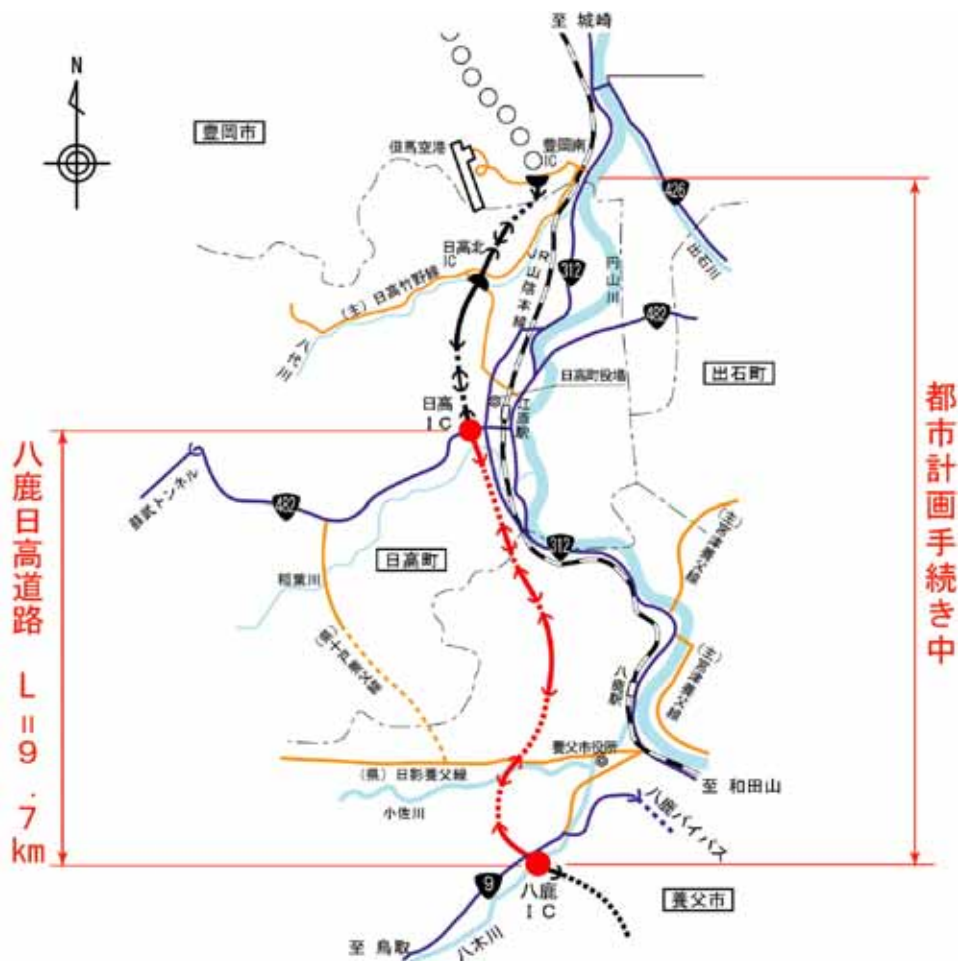
- ・平成12年度 新規着工準備、環境基礎調査実施

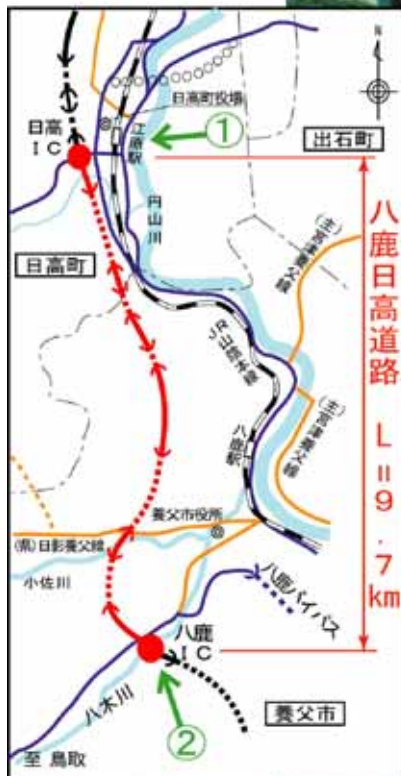
2. 事業の進捗

- ・環境影響評価方法書の公告 : 平成14年1月 8日
縦覧 : 平成14年1月8日～平成14年2月7日
- ・ルートの公表 : 平成16年3月26日
- ・環境影響評価準備書の公告 : 平成16年7月20日
縦覧 : 平成16年7月20日～平成16年8月20日

3. 現在の状況等

- ・平成13年9月に環境影響評価方法書(事業者案)を兵庫県知事に提出し、平成14年1月に環境影響評価方法書を公告縦覧、平成14年度より環境調査に着手し、平成16年3月には、環境影響評価準備書(事業者案)を都市計画決定権者である兵庫県知事送付しました。
- ・平成16年8月20日に環境影響評価準備書の縦覧を完了し、平成17年夏の都市計画決定に向け手続きを進めています。





①円山川上流から村岡方面を望む



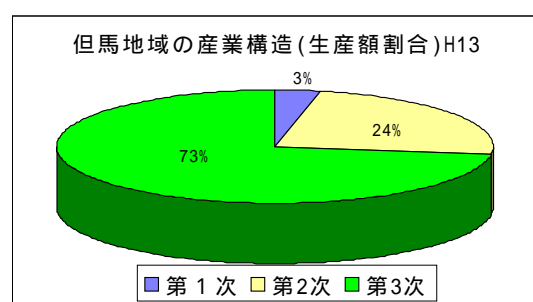
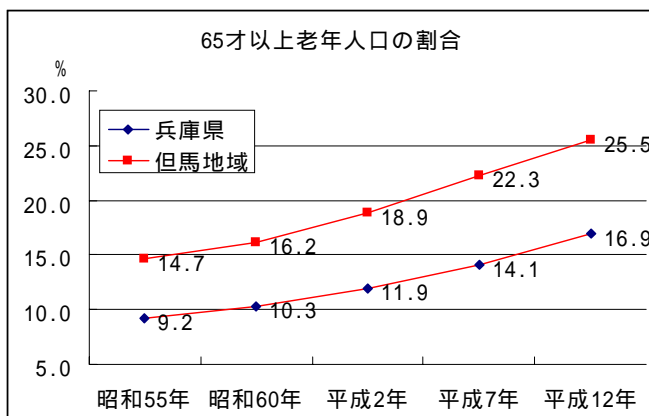
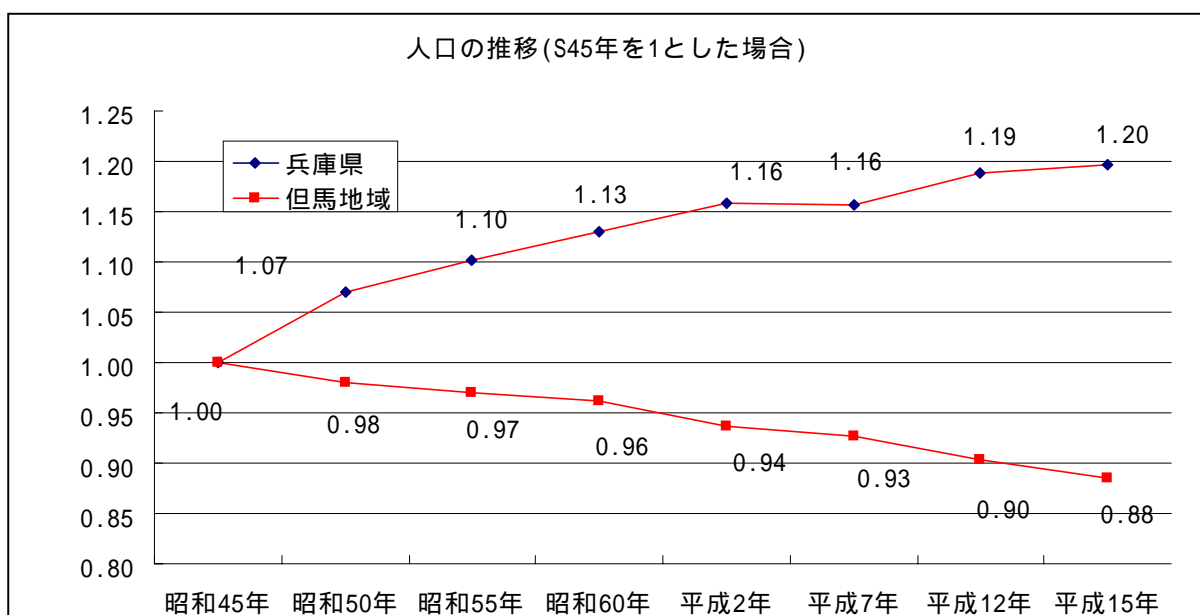
②八鹿IC方面から日高方面を望む

事業を取り巻く社会状況

1. 社会的背景

(1) 沿線の人口、経済活動

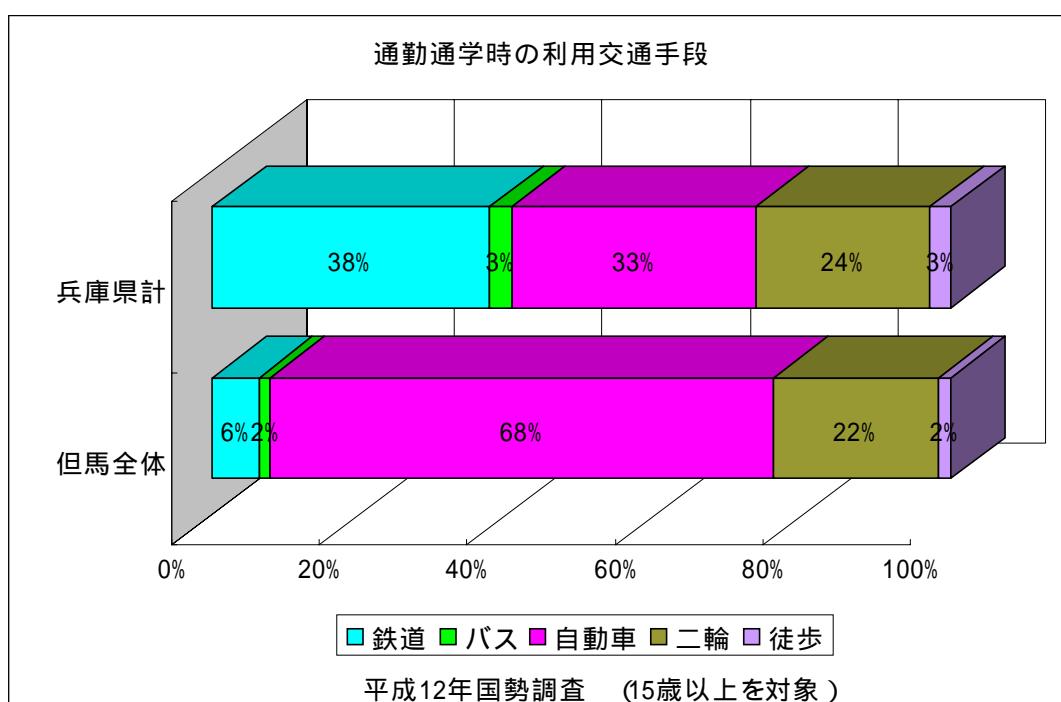
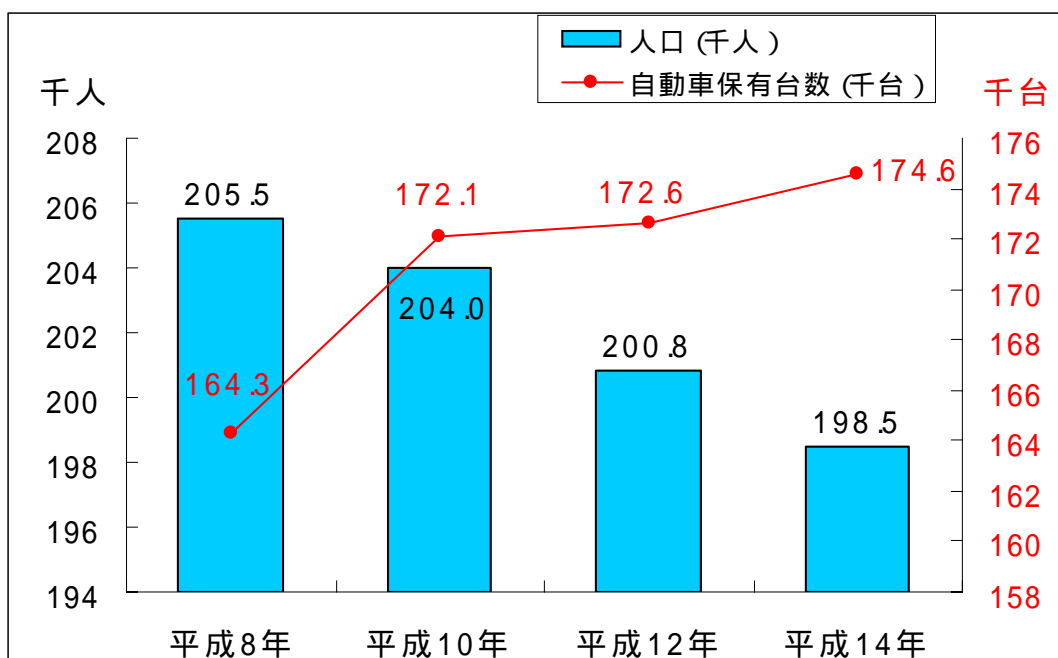
- ・ 但馬地域は、兵庫県の約25%の面積を占め、人口は約20万人で4%を占めています。
- ・ 人口の推移をみると、年々減少しており過疎化、高齢化が進行しています。
- ・ 産業構造は、観光等の第3次産業が約7割を占めています。



国勢調査、兵庫県統計書

(2)自動車保有台数

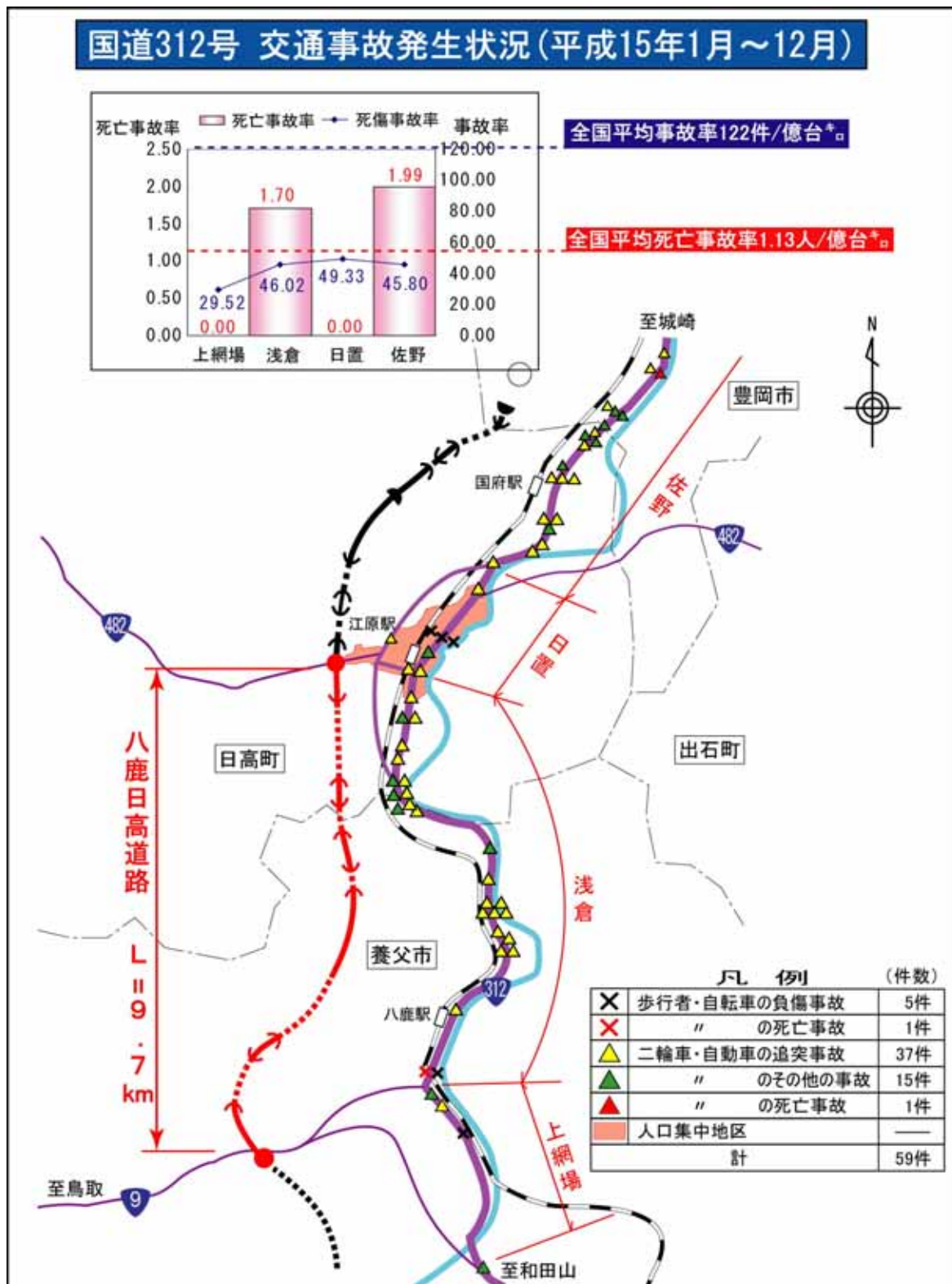
- ・ 但馬地域の人口は減少する傾向ですが、自動車保有台数は増加する傾向となっており、地域内外への移動手段として、自動車への依存が高まっている地域です。
- ・ また、通勤、通学時の利用交通手段をみると自動車・二輪車が90%を占め、鉄道、バスが8%で、公共交通機関が極めて脆弱となっています。



(3)交通事故の発生状況

一般国道312号の事故発生状況をみると、死亡事故率は全国平均よりも高く、市街地通過交通と市街地関連交通が輻輳することによる交通事故が多い。特に浅倉地区では、沿道に入るために停車した車に追突する3台玉突き事故が5件のうち4件発生している。

通過交通と市街地関連交通を分離する事が必要です。



(4) 冬期交通の状況

一般国道312号は、幅員が狭小で、堆雪帯がないため、積雪時には、更に幅員が狭くなり、大型車のすれ違いが困難になるとともに、歩行者が車道を通行し、渋滞、交通安全の確保が課題となっています。

国道312号現況断面図（積雪時）



国道312号の積雪による渋滞状況



3. 周辺の主な事業の概要

八鹿日高道路周辺では、兵庫県北部地域の緊急医療充実のために公立豊岡病院の整備が平成17年度開院にむけ進められています。

これらの施設は、八鹿日高道路を含む北近畿豊岡自動車道が主要アクセス道路として機能することにより、円滑な運営、有効な施設の活用が図られものと期待され事業が進められています。

公立豊岡病院（第3次救急医療施設）

- 敷地面積 約8ha（建物面積 約0.2ha）

- 主な経緯

平成 6年 但馬新都市基本計画策定
平成10年 豊岡病院建設基本計画策定
平成13年 豊岡病院工事着手
平成17年 春 開院予定

- 建設構造物

病院本館：鉄筋コンクリート造 地上7階塔屋1階（免震構造）

精神病棟：鉄筋コンクリート造 平屋建

- 病床数 一般：435床 精神：65床 合計：500床

- 診療科目数 25科

- 駐車場台数 1,100台



また、北近畿豊岡自動車道、但馬空港の高速交通体系を生かした産業拠点として豊岡中核工業団地の整備が進められています。

豊岡中核工業団地

- ・ 総面積 約89ha（工業用地面積 47ha）
- ・ 事業主体 地域振興整備公団
- ・ 主な経緯 昭和54年3月 構想着手
昭和58年3月 計画承認
昭和59年 造成着手
昭和62年 造成完了
昭和62年3月～ 分譲
- ・ 分譲区画数 32区画（30区画分譲済）
- ・ 企業数 21社
- ・ 立地可能業種 製造業等
- ・ 地域指定 工配法（誘導地域）、農工法（工業等導入地区）、低工法（工業開発地区）、電源開発法（電源地域甲）、地域拠点法（地域拠点都市地域）
- ・ 用途地域の指定 工業専用地域（建ぺい率60%以内、容積率200%以内）



進出企業 (株)播磨屋本店、明和産商(株)(株)豊岡紙器、(株)オフテクス、ジェイ・ピー・エフ・ワークス(株)、ITセミコン(株)、(株)オーケーケーキャスティング、豊岡丸エム製作所、信和化成(株)、兵庫県経済農業協同組合連合会、太陽電線(株)、東海パネ工業(株)、オスカーバルブ(株)、(株)岩野製作所、カネカソーラーテック(株)、神織興業(株)、アサヒ金属(株)、ザーテックテクノロジー(株)(株)誠工社、豊陽工業(株)、新生科学工業(株)

4. 地域における計画

八鹿日高道路は、以下の計画に位置づけられています。

21世紀の国土のグランドデザイン(平成10年3月)(閣議決定)
北近畿豊岡自動車道の全線が高規格幹線道路(14,000km)に位置づけられています。

21世紀兵庫長期ビジョン(平成13年2月)(兵庫県作成)
但馬地域ビジョンに、高規格幹線道路の早期完成として北近畿豊岡自動車道が位置づけられています。

日高町新総合計画(平成12年3月)
基本理念において北近畿豊岡自動車道整備等により、但馬地域での拠点性が高まり、基本テーマ「未来を拓く但馬の新十字路日高町」としています。

また、「交通利便性の向上」では、「北近畿豊岡自動車道の早期建設とインターチェンジの設置要望」を位置づけられています。

八鹿町総合計画(平成7年6月)
「都市基盤の整備」の中で、北近畿豊岡自動車道の早期着工が位置づけられています。

平成16年4月1日に、八鹿町、養父町、大屋町、関宮町、合併市政施行している。

5. 要望経緯

八鹿日高道路の事業促進を要望する各団体の動きは、以下のとおりです。

(最近の動向)

平成15年 9月 北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会が県に要望

平成15年 9月 北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会、北近畿豊岡自動車道早期実現推進議員連絡会が、関係機関に要望

平成15年12月 北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会、但馬地域国道連絡会が、関係機関に要望

平成16年 7月 北近畿豊岡自動車道早期実現促進大会

平成16年 7月 北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会が、国の関係機関に要望

平成16年 7月 北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会が、関係機関に要望



H16.7.24促進大会開催状況

- ・主催 北近畿豊岡自動車道実行委員会(但馬地域2市14町、南但馬北近畿豊岡自動車道整備推進連絡協議会、北近畿豊岡自動車道早期実現養父市民会議、北近畿豊岡自動車道早期実現和田山町民会議、兵庫但馬地域国道連絡会、北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会で構成)
- ・会長 養父市民会議議長 小畑佐夫(養父市区長会会長)



H16.7.25毎日新聞

(参考) 関係促進団体

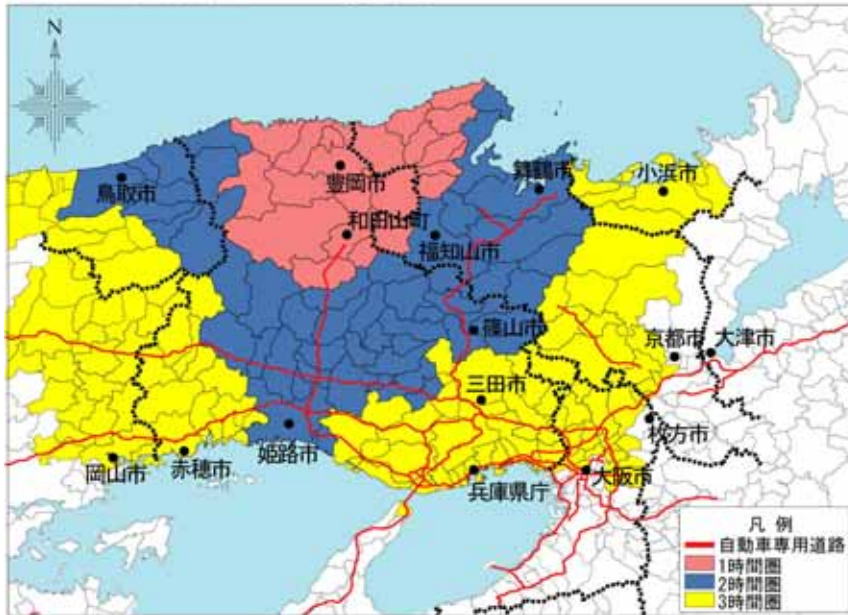
団 体 名 (設 立 年 月)	
会 長	主 な メ ン バ ー
北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会 (昭和62年10月)	
豊岡市長	豊岡市、養父市、城崎町、竹野町、香住町、日高町、出石町、但東町、村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、生野町、和田山町、山東町、朝来町、篠山市、柏原町、氷上町、青垣町、春日町、山南町、市島町 各首長及び議長
北近畿豊岡自動車道 (但馬地域) の整備を進める会 (平成3年5月)	
豊岡市長	豊岡市、養父市、城崎町、竹野町、香住町、日高町、出石町、但東町、村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、生野町、和田山町、山東町、朝来町 各首長及び議長
南但馬北近畿豊岡自動車道整備推進連絡協議会 (平成6年1月)	
養父市長	養父市、和田山町、山東町 各首長及び議長
北近畿豊岡自動車道早期実現推進議員連絡会 (平成8年4月)	
豊岡市議会議員	豊岡市議会議員、城崎町議会議員、竹野町議会議員、香住町議会議員、日高町議会議員、出石町議会議員、但東町議会議員

事業の整備効果

1. 但馬地域における地域交流圏の拡大(時間短縮効果)

八鹿日高道路を含む北近畿豊岡自動車道を整備することにより、但馬地域から兵庫県庁までの時間が約2時間圏となります。

現況の豊岡市からの時間圏



整備後の豊岡市からの時間圏

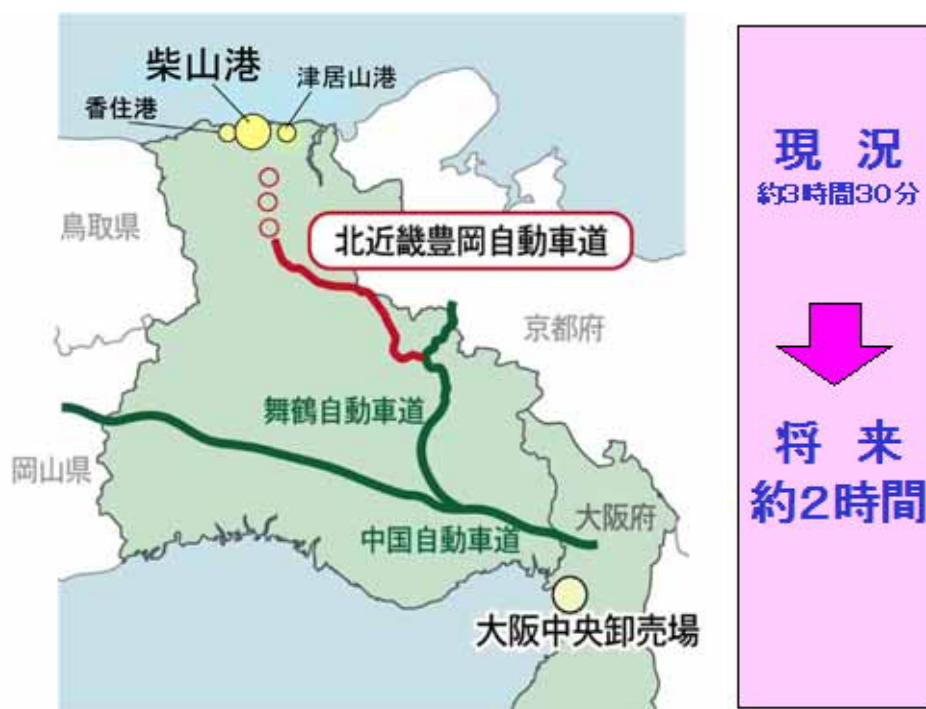


2. 地域の活性化

(1) 物流機能の向上による市場競争力の強化

但馬地域の水産業では、ズワイガニ、ハタハタは全国1位の水揚げ量で、魚介類の50%は、京阪神方面に出荷されています。

北近畿豊岡自動車道を整備することにより、搬送時間が短縮され、鮮度が増し品質保持に貢献するとともに、市場拡大が期待できます。



現況速度は、道路時刻表をもとに算定

将来速度は、北近畿豊岡自動車道80km/hとして、他の道路は道路時刻表をもとに算定



ズワイガニ

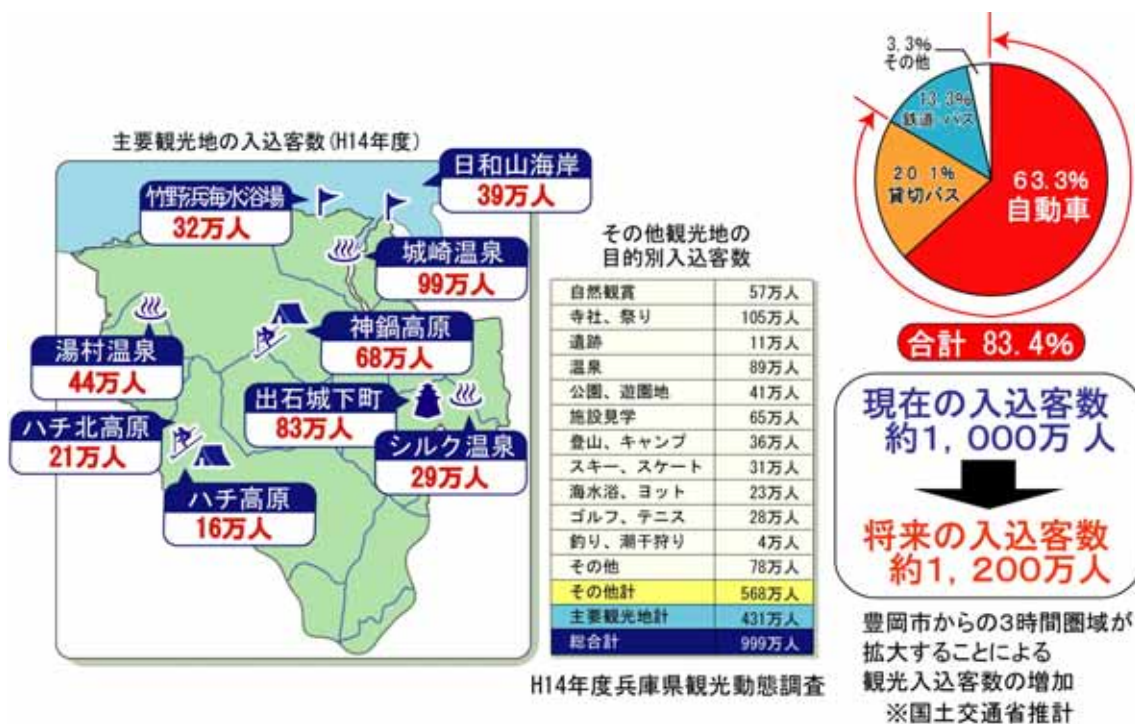


ハタハタ

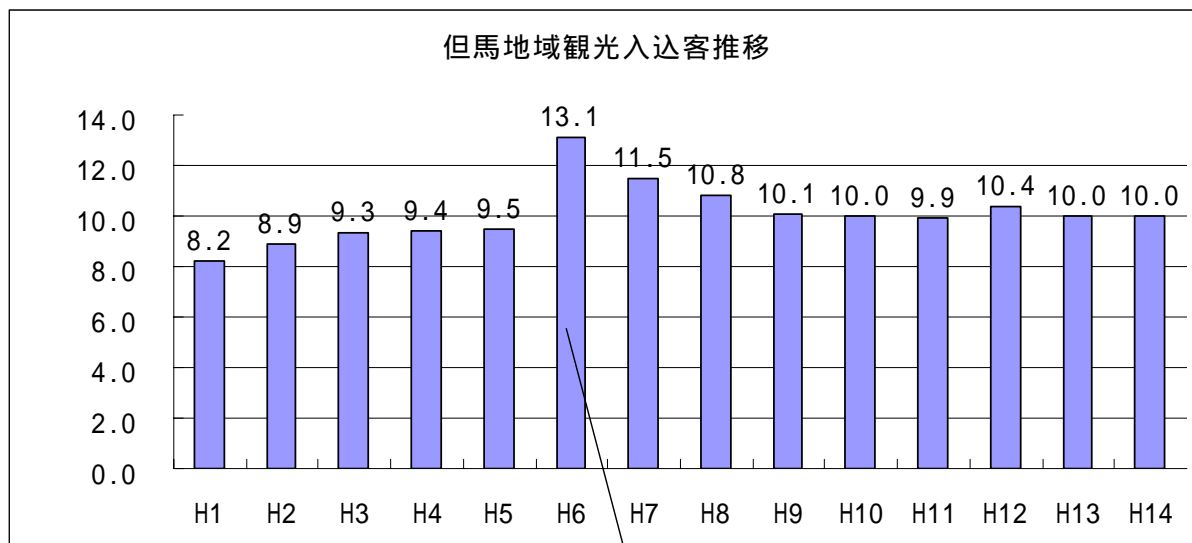
(2) 観光産業への支援

但馬地域は、年間約1千万人の観光客が訪れ、約8割が自動車、貸切バスを利用しています。

北近畿豊岡自動車道を整備することにより、観光集客力が増し、観光産業の発展が期待できます。



予測方法：観光客動態調査をもとに、時間距離による、その市町村内に占める観光客の割合で予測



平成6年「全国植樹祭」開催

兵庫県統計書

(4)災害時の代替機能

但馬地域の円山川流域は、河口から17km内陸の城崎郡日高町付近まで海面と河川の水位差が1mしかなく、平成2年9月、平成16年10月20日には豪雨による洪水が発生し、道路、鉄道交通が麻痺し、緊急医療、国民生活に深刻な影響が出ました。北近畿豊岡自動車道の整備により、災害時の代替路、緊急輸送路となり、信頼性と安全性が向上します。

H2.9の豪雨による被災状況



H16.10.20の円山川洪水による被災状況

豊岡市上空

出石町鳥居

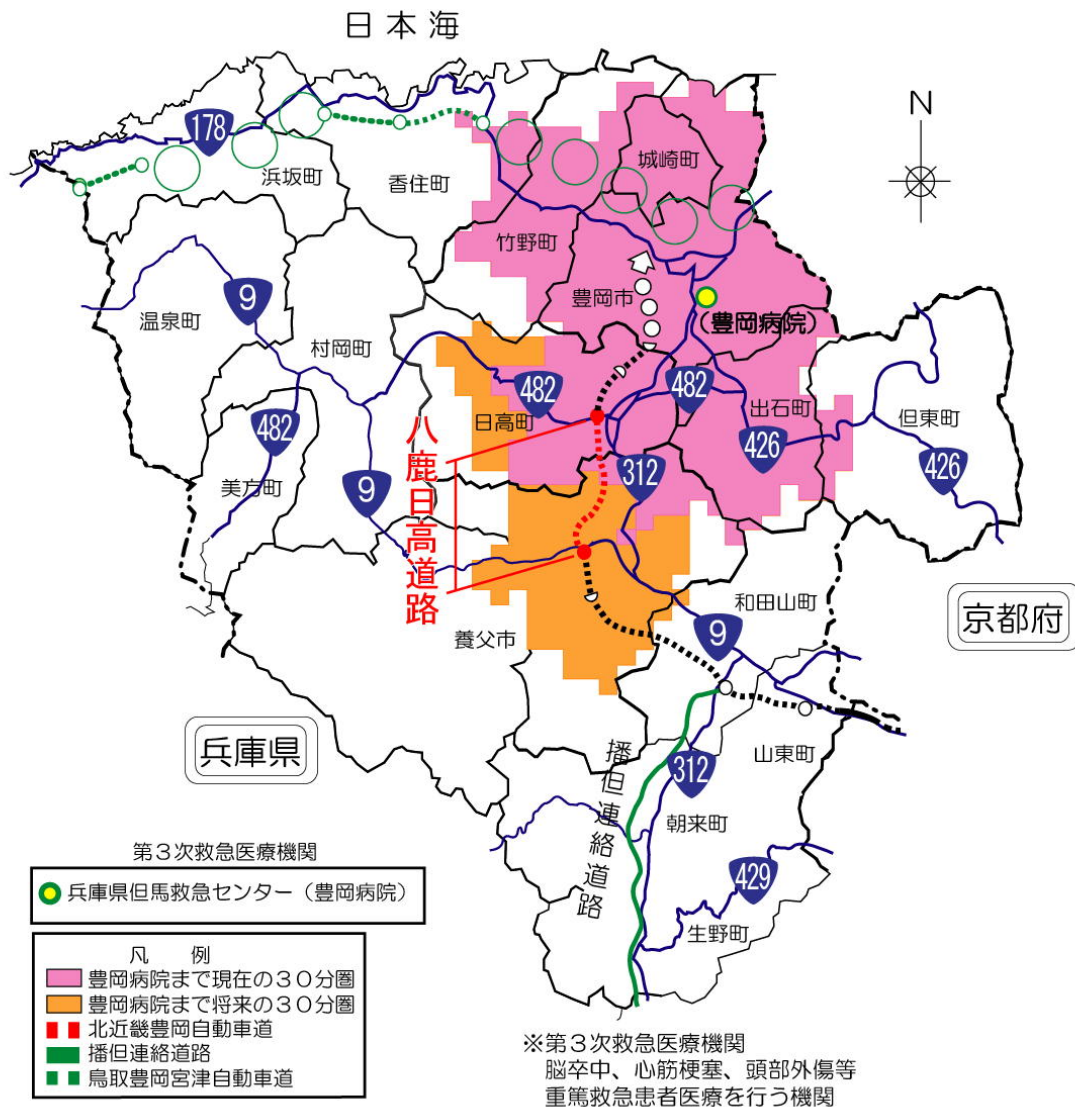
山陰海岸
神鍋高原
八千高原
城崎温泉
平成16年10月浸水区域
豊岡市
城崎町
日高町
八鹿町
出石町
海水面との差が1m
L=17km
一般国道312号の通行止
八鹿日高道路
北近畿豊岡自動車道

経済基盤の打撃深刻
道路寸断、途切れる商品
豊岡の靴業者8割に被害
収穫減、高騰さらに
台風23号 不況脱出に新たな重荷

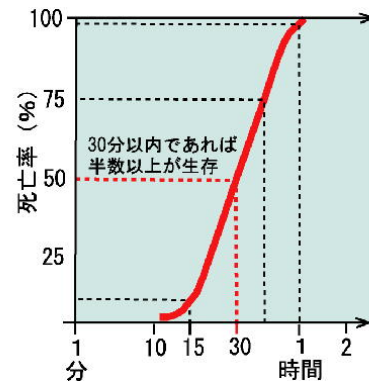
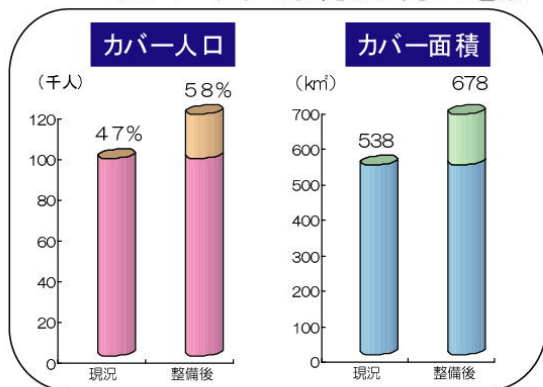
2004年(平成16年) 10月22日 (金曜日) 神戸新聞 12面

(5) 医療サービスの向上

但馬地域には、高度医療施設が豊岡病院一箇所となっています。北近畿豊岡自動車道整備により、30分カバー圏人口が増加します。



但馬地域での30分圏域は約140km²拡大
カバー人口は約60%に増加



緊急時（大量出血等）の輸送時間が60分になると、生存率は10%と極めて低く、30分以内（50%の生存率）の輸送が必要とされている。

(6) 主要渋滞ポイントの緩和

但馬地域は、年間約1千万人の観光客が訪れ、休日には観光地に向かう車両が交通渋滞を起こし、生活道路に深刻な影響を与えています。北近畿豊岡自動車道の整備により、交通混雑の緩和が図られます。

休日の渋滞ポイント



北近畿豊岡自動車道

渋滞状況



(国道312号 下小田交差点付近)

費用便益比の算定（事業全体）

路線名	一般国道483号
事業名	北近畿豊岡自動車道 八鹿日高道路
延長	9.7km

便 益 (B)

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成16年度			
基準年における現在価値	2,044億円	258億円	73億円	2,375億円

費 用 (C)

	事業費	維持修繕費	合 計
基準年	平成16年度		
単純合計	690億円	159億円	849億円
基準年における現在価値	536億円	55億円	592億円

算定結果

費用便益比（C B R）		
B / C =	$\frac{\text{便益の現在価値の合計 (B)}}{\text{費用の現在価値の合計 (C)}} = \frac{2,375 \text{ 億円}}{592 \text{ 億円}}$	
	= 4.0	

費用便益比の算定（残事業）

路線名	一般国道483号
事業名	北近畿豊岡自動車道 八鹿日高道路
延長	9.7km

便 益 (B)

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成16年度			
基準年における現在価値	2,044億円	258億円	73億円	2,375億円

費 用 (C)

	事業費	維持修繕費	合 計
基準年	平成16年度		
単純合計	684億円	159億円	843億円
基準年における現在価値	530億円	55億円	585億円

算定結果

費用便益比（CBR）		
$B/C =$	$\frac{\text{便益の現在価値の合計（B）}}{\text{費用の現在価値の合計（C）}}$	$= \frac{2,375 \text{ 億円}}{585 \text{ 億円}}$
		$= 4.1$

コスト削減や代替案立案等の可能性

本道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、幹線道路等の接続、経済性等を勘案のうえルートを選定しており、現在都市計画の手続きを進めています。

事業実施にあたっては、周辺の景観や環境への影響を最小限にする工夫を行いつつ、新技術、新工法を積極的に採用するなどコスト削減に努めていきます。

対 応 方 針

(1) 事業の必要性に関する視点

- ・ 但馬地域は、人口約20万人で、年々減少してきており、少子高齢化が進んでいます。また、公共交通機関が脆弱で自動車に依存した地域となっています。
人口の定住化を図るために、地域の活性化が課題となっています。
- ・ 但馬地域の中心地である豊岡への道路は、南北に一般国道312号しかなく、幅員狭小で、交通渋滞、交通安全の確保が必要です。特に、冬期の交通確保、交通安全対策が必要となっています。
- ・ これらの課題に対応するには、一般国道483号八鹿日高道路の整備を推進し、高速道路ネットワークを形成し、但馬地域の交流圏域を拡大し、地域に活性化するとともに、並行する一般国道312号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ることが必要であると考えています。
- ・ また、事業化に向けて、都市計画手続きを推進しているところであり、残事業の費用対効果も、4. 1であり、事業実施の必要性が高い道路と考えています。

(2) 事業の進捗の見込みの視点からの見解

本事業は、事業化に向け着工準備となっており、平成16年8月に環境影響評価準備書の縦覧が完了し、平成17年には都市計画決定の見込みであり、早期に事業化に向け都市計画手続きを推進してして行きます。

(3) コスト縮減や代替案立案の可能性による視点からの見解

本道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、幹線道路等の接続、経済性等を勘案のうえルートを選定しており、現在都市計画の手続きを進めています。

事業実施にあたっては、周辺の景観や環境への影響を最小限にする工夫を行いつつ、新技術、新工法を積極的に採用するなどコスト削減に努めていきます。

◆対応方針（原案）

（事業継続）

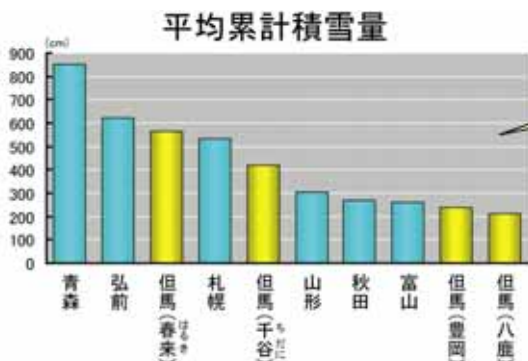
一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する重要な道路です。

その一部を形成する八鹿日高道路は、但馬地域の主要幹線道路の交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域の活性化のため、事業促進が求められています。

今後とも、引き続き都市計画手続きを推進し、早期の事業化を目指します。

(3) 冬期交通の信頼性が向上

但馬地域は、北海道や東北等の日本の代表的な豪雪地と同じレベルの積雪量です。その一方で幹線道路は峠が多く冬期交通の障害となっています。北近畿豊岡自動車道は、堆雪帯のない市街地内の一般国道312号から交通をバイパスさせ冬期の渋滞解消、交通安全の確保を図ります。



日本の代表的な豪雪地との平均累計降雪量を比較しても但馬地域の積雪量が多いことがうかがえます。
[H11~H15の5ヶ年平均]



平成12年2月18日の新聞記事

但馬の公共交通手段の一つであるバスの運行にも積雪は大きく影響しています。
[累積積雪量は八鹿]

八鹿日高道路の整備により、大型車をバイパスさせる事ができます。

冬期の積雪による渋滞状況



国道312号 日高町内



国道312号 日高町内

チェックリスト

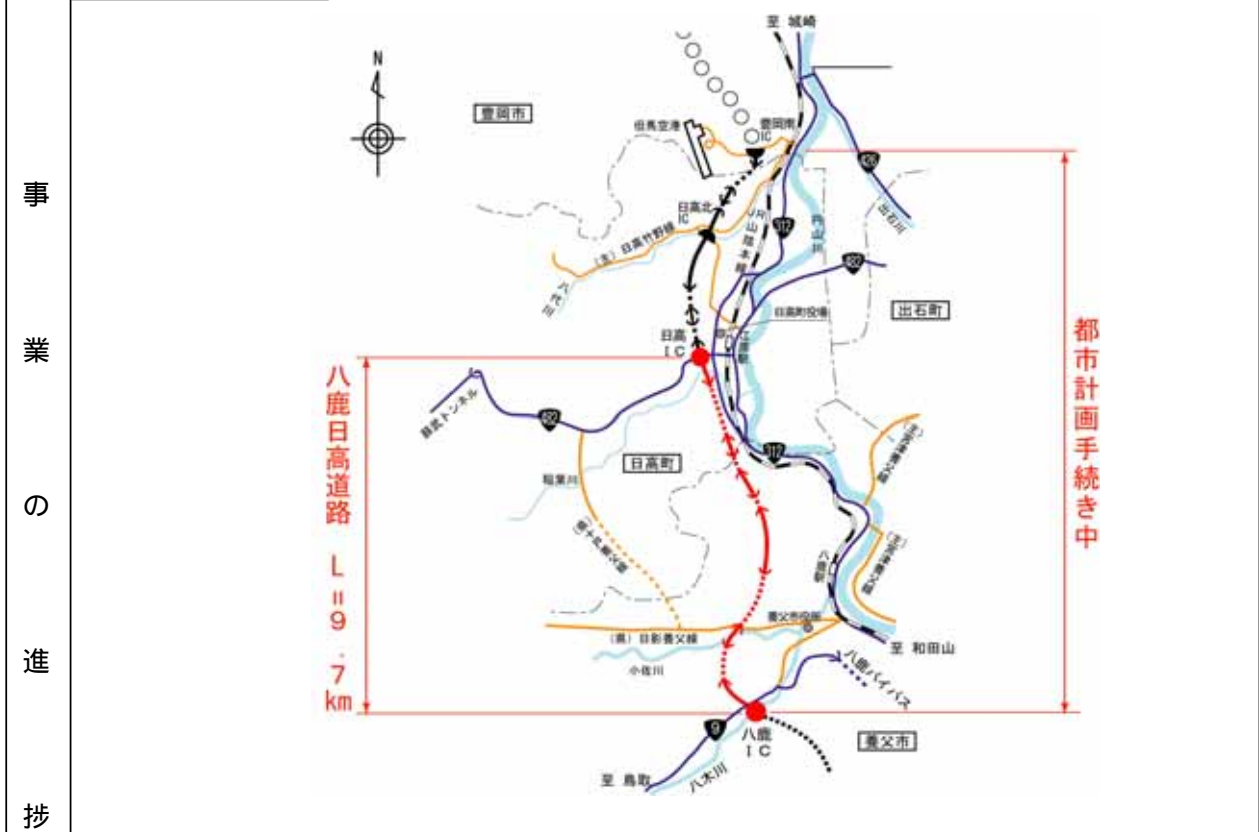
事業再評価に係る資料

事業名		国道483号 八鹿日高道路 ようかひだかどうろ		事業種別	高規格B
事業の概要	起終点	自：兵庫県城崎郡日高町久斗 ひょうご きのさき ひだかちょう くと 至：兵庫県養父市八鹿町高柳 ひょうご やぶ ようか たかやなぎ		延長	9.7km
	事業化	平成12年度 新規着工準備	都市計画決定	平成17年度夏	
	用地着手	—	工事着手	—	
	全体事業費	約690億円			
事業の目的	<p>一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する、全長約70kmの高規格幹線道路として整備中の路線です。</p> <p>兵庫県北部の但馬地域は、県土の1/4を占めますが高速道路空白地帯で、公共交通機関も脆弱です。日常生活は主に自動車を利用し、朝夕の通勤通学時の交通渋滞、交通事故、緊急医療ネットワーク、冬期積雪時の交通確保など、日常生活に深刻な影響を及ぼしています。</p> <p>また、過疎化が進む当地域は、ズワイガニなどの水産品、かばんなどの地場産業、温泉、スキー場等の観光産業などを活かした地域の活性化や、人口の定住化が求められています。</p> <p>八鹿日高道路は、北近畿豊岡道路の一部を形成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携した広域道路ネットワークを形成し、日常生活の基盤となるとともに、地域活性化を図ることを目的とした道路です。</p>				
位置図					

事業名	国道483号 <small>ようかひだかどうろ</small> 八鹿日高道路	事業種別	高規格B
-----	---	------	------

執行済み額	事業費 : —
-------	---------

事業の進捗状況	
---------	--



- ・事業化：平成12年度 新規着工準備
 - ・用地着手： —
 - ・工事着手： —
-
- ・平成13年9月に環境影響評価方法書（事業者案）を兵庫県知事に提出し、平成14年1月に環境影響評価方法書を公告縦覧、平成14年度より環境調査に着手し、平成16年3月には、環境影響評価準備書（事業者案）を都市計画決定権者である兵庫県知事に送付した。
 - ・平成16年8月20日に環境影響評価準備書の縦覧を完了し、平成17年夏の都市計画決定に向け手続きを進めている。

供用目標等今後の事業の見通し	
----------------	--

- ・平成17年7月見込みの都市計画決定に向けて手続き中

事業名	国道483号 <small>ようかひだかどうろ</small> 八鹿日高道路	事業種別	高規格B
-----	---	------	------

事業をめぐる社会情勢等	客観的評価指標		
	1. 活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率
			並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
			並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
			新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
		物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
			農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上
		都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である
			三大都市圏の環状道路を形成する
			市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		国土・地域ネットワークの構築	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
			当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
			日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
	3. 安全	安全な生活環境の確保 災害への備え	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により、当該区間の安全性の向上が期待できる
			対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
			緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
並行する高速ネットワークの代替路線として機能する			
並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
		並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	
		並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	
		並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
	その他、環境や景観上の効果が期待される		
	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる		

事業をめぐる社会情勢等	再評価実施時点における評価指標該当項目（定量的評価指標）	
	<p>1．活 力～円滑なモビリティの確保～ 現況の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 ・並行する国道312号現道区間の渋滞損失時間は約180,000人・時間である。 ・当該事業により、渋滞損失時間は概ね解消される。</p> <p>4．環 境～地球環境の保全～ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 ・国道312号現道区間のCO2排出量は約19,500tである。 ・当該事業により、CO2の排出量は約7,100t（36.5%）削減される。</p> <p>4．環 境～生活環境の改善・保全～ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ・国道312号現道区間のNO2排出量は約67tで、SPMの排出量は約6.4tである。 ・当該事業により、NO2の排出量が46.1%、SPMの排出量が約46.4%削減される。</p>	
効果事業分析採択の時の要因費用変化効果	<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>・但馬地域の人口は平成12年から平成14年の2年間で約2.3千人程度減少する傾向である。しかし、自動車保有台数は2年間で約2千台程度増加する傾向となっている。地域内外への移動手段として、自動車への依存が高まっており、通勤、通学時の利用交通手段は自動車・二輪車が90%を占めている。</p>	
立入案ト等縮の減可や能代替性替コ案	<p>現在の費用便益比：B / C = 4 . 0（事業全体） = 4 . 1（残事業） （基準年次：平成16年、検討年次40年間で算出）</p>	<p>八鹿日高道路の計画にあたっては、地形、周辺の土地利用状況、幹線道路等の接続、経済性等を勘案のうえルートを選定しており、現在都市計画の手続きを進めている。</p> <p>事業の実施にあたっては、周辺の景観や環境への影響を最小限にする工夫を行いつつ、新技術、新工法を積極的に採用するなどコスト削減に努めていく。</p>

<p>地方公共団体の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会（豊岡市、養父市、城崎町、竹野町、香住町、日高町、出石町、但東町、村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、生野町、和田山町、山東町、朝来町、篠山市、柏原市、氷上町、青垣町、春日町、山南町、市島町）・・・北近畿豊岡自動車道の事業促進を要望 ・北近畿豊岡自動車道（但馬地域）の整備を進める会（豊岡市、養父市、城崎町、竹野町、香住町、日高町、出石町、但東町、村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、生野町、和田山町、山東町、朝来町）・・・北近畿豊岡自動車道の事業促進を要望 ・南但馬北近畿豊岡自動車道整備推進連絡協議会（養父市、和田山町、山東町）・・・北近畿豊岡自動車道の事業促進を要望 ・北近畿豊岡自動車道早期実現推進議員連絡会（豊岡市議会議員、城崎町議会議員、香住町議会議員、日高町議会議員、出石町議会議員、但東町議会議員）・・・北近畿豊岡自動車道の事業促進を要望 ・八鹿日高道路を通過する市町等 養父市、日高町
<p>対応方針</p>	<p>（原案）事業継続 （理由）</p> <p>一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、兵庫県北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する重要な路線です。</p> <p>その一部を形成する八鹿日高道路は、但馬地域の主要幹線道路の交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域の活性化のため、事業促進が求められています。</p> <p>今後とも引き続き都市計画手続きを推進し、早期の事業化を目指します。</p>